

# レオビルド<sup>®</sup> NP20R

## RHEOBUILD<sup>®</sup> NP20R

### 流動化剤 遅延形 I 種

レオビルドNP20Rは、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」の流動化剤・遅延形（I種）の規定に適合する混和剤です。

レオビルドNP20Rは、ベースコンクリートが有する空気量、強度、耐久性などの基本的な性質を損なうことなく、コンクリートの流動性を増大させ、かつ凝結時間を遅延させることができます。このような特性から、硬練りコンクリートの諸性質を保持したまま、軟練りコンクリートの施工性が得られ、あるいは単位セメント量を一定として高強度コンクリートが比較的容易に製造することができます。

#### 特長

- レオビルドNP20Rはベースコンクリートの空気量、強度、耐久性などの基本的な性質を損なうことなく、コンクリートの流動性を増大させ、かつ凝結時間を遅延させることができます。
- レオビルドNP20Rを用いたコンクリートの乾燥収縮は、同じスランブの通常のコンクリートに比べ大幅に減少できます。
- レオビルドNP20Rを用いたコンクリートの凍結融解の繰り返し作用に対する抵抗性は、同じスランブの通常のAEコンクリートと同等です。
- レオビルドNP20Rはポゾリスを用いたコンクリートにあと添加すると、最良の性能を発揮します。

#### 主成分および物性

主成分	外観	密度 (g/cm <sup>3</sup> , 20°C)	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
メラミンスルホン酸系化合物と ポリオール化合物の複合体	暗褐色液体	1.11~1.15	2.4	0.02

\*全アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例です。

#### 用途

- 軟練りコンクリートの品質改善（特に単位水量とひび割れの減少）を目的とした流動化コンクリート。
- 硬練り・中練りコンクリートの施工性向上（特に施工能率の向上に伴う費用の節減とポンプ圧送性の改善）を目的とした流動化コンクリート。
- 暑中に施工される流動化コンクリートあるいは水和発熱量の低減を目的とした流動化コンクリート。
- マスコンクリートの高強度・高品質化を目的とした流動化コンクリート、その他。

#### 使用方法と使用量

- レオビルドNP20Rは、コンクリートを打込む直前に現場で添加してください。
- レオビルドNP20Rの標準的な添加量は、スランブ1cm増大に対して、セメント100kg当たり原液で80～150mℓを目安としてご使用ください。

(例) 単位セメント量350kg/m<sup>3</sup>でスランブを6cm増大する場合の添加量

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{単位セメント量} \\ \text{350kg / m}^3 \\ \hline \text{100} \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{スランブ} \\ \text{増大量} \\ \text{6cm} \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{スランブ1cm増大に} \\ \text{対する添加量} \\ \text{120mℓ} \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{1m}^3\text{当たりの添加量} \\ \text{2,520mℓ/m}^3 \end{array}$$

## 性能

レオビルドNP20RのJIS A 6204による性能評価例

試験項目	流動化剤 遅延形規定値	試験値	評価	
ブリーディング量の差 (cm <sup>3</sup> /cm <sup>2</sup> )	0.20以下	0.02	適合	
凝結時間の差 (min)	始発	+60~+210	適合	
	終結	0~+210	適合	
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	90以上	適合	
	材齢28日	90以上	適合	
長さ変化比 (%)	120以下	100	適合	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	97	適合	
経時変化量	スランプ(cm)	4.0以下	1.0	適合
	空気量(%)	±1.0以内	+0.4	適合

使用材料/セメント: 普通ポルトランドセメント、細骨材: 大井川水系陸砂 (密度 2.57g/cm<sup>3</sup>, FM2.69)

粗骨材: 青梅産硬質砂岩砕石 (密度 2.65g/cm<sup>3</sup>, MS20mm) 流動化剤: レオビルドNP20R (900ml / C = 100kg)

## 使用および取扱上の注意事項

- レオビルドNP20Rの添加方法は、構造物の種類と規模、工事現場の環境条件並びに施工管理体制などによる施工条件を考慮し、最も適切な方法を選定してください。
- 流動化によるスランプ増大量が過大になりますと、流動化コンクリートのワーカビリティを良好な状態に維持することが困難になりますので注意してください。
- 流動化コンクリートのワーカビリティは、コンクリート中の微粒分量に強く影響されますので、使用材料や配(調)合の選定には十分注意してください。
- レオビルドNP20Rの流動化効果および流動化後の経時変化は、レオビルドNP20Rの添加方法、添加量、添加時期、添加後のかくはん方法と時間、およびコンクリート温度などに影響されますので、事前に十分検討して下さい。なお、レオビルドNP20Rは原液のままご使用ください。
- 本品は他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように(凍結温度: -3℃)保管してください。
- 凍結した場合には、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
- 取扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
- 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、多量の水を飲ませ、専門医の診察を受けてください。
- 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
- 使用および取扱いの前に、当社の製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

## 荷姿

原液: 20ℓポリ内装箱、200ℓドラム缶、バルク

※本商品についてのお問い合わせは、本社混和剤営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

## BASF ポズリス株式会社

本社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980  
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244  
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273  
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487  
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515  
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505  
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218  
(社本金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

[www.pozzolite.basf.co.jp](http://www.pozzolite.basf.co.jp)

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

